



障害者差別解消法施行記念！ Little bit 4周年！
 リトルビットは発達障害以外の障害も更に考えていきます



障害平等研修の 体験と発信



お申込
QRコード

in熊本(九州初！ロングバージョン)

障害者差別
解消法施行

障害当事者
が発信！

JICAが
導入

視覚障害者
ファシリテーター

行政職員
一般市民

参加者同士
双方向体感

ユーモア
真剣・行動

精神・発達障害
への意見募集！

2015年 9月27日(日) ※公共交通利用推奨(バス・市電「水道町」)

熊本市中央公民館 4F第1研修室(変更の可能性有) * 白川公園横

第1部 障害平等研修(前半)障害とは何か？ 10:00～12:00

第2部 障害平等研修(後半)解決法・意義・可能性 13:00～17:30*

※1日通しての参加を推奨しますが、部分参加もできます。 ■懇親会18:00～予定

※諸事情でバリアフリーが不十分な会場しか確保できていません。
 目途が付いた場合会場を変更します。適切な会場の情報提供募集

研修進行: 安田真之さん

障害平等研修ファシリテーター(視覚障がい)

京都産業大学障がい学生支援コーディネーター

研修解説: 千葉寿夫さん

NPO法人障害平等研修フォーラム理事・事務局長
 合同会社Dナレッジ代表

本イベントコーディネーター: 山田裕一

立命館大学 生存学研究センター 客員研究員

熊本県発達障害当事者会 Little bit 顧問ソーシャルワーカー

対象者: 障害等の有無に関わらず、自分と他者の幸せを考えられる

社会づくりを考えたい方(行政、障がい者、福祉、企業、一般)

定員: 30名 参加費: 無料(任意のご寄付をお願いします)

お申込: 「こくちーず」(イベント情報サイト)からお申込ください。

アドレス... <http://kokucheese.com/event/index/334057/>

* 右上QRコードからもアクセスできます。

お申込締切: 9月26日 お問い合わせ: littlebitevent@gmail.com TEL: 090-4585-8859

主催: 障害学生パートナーシップネットワーク付属熊本県発達障害当事者会 Little bit ※日本財団助成

共催・企画: 当事者会発信・研修研究所 協力: 凸凹ライフデザイン Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION



研修ファシリテーター: 安田真之さん

熊本県山鹿市のご出身、ご自身の学びや経験から生まれる深い言葉をユーモアたっぷりに分かりやすく語られます。生まれつき視覚しょうがいがあり、私たちの障害の概念を変える魅力もあります。立命館大学大学院で修士号を取得、現在は京都の大学で障害学生の支援に尽力されています。以前からの知人であったLittle bit顧問とは、障害平等研修を通して新たなつながりの糸が結ばれました(!?)。皆様もこの機会に、安田真之さんと共に考え、つながりましょう！

研修解説: 千葉寿夫さん

国連アジア太平洋社会経済委員会、アジア太平洋障害者センター、日本財団、国際協力グループでのご経験を積み、現在Dナレッジ代表、NPO法人障害平等研修フォーラムの理事・事務局長も務め、誰もが主体的に課題を発見し自身の生活に生かすことで平等な社会の実現を目指す「障害平等研修」の普及に努めておられます。

Little bitスタッフ・顧問とは沖縄の障害学会で知り合いました。今回は、はるばる東京からお越しくださいます発展途上国の障害者事情にも詳しい千葉寿夫さんとつながり、共に学べる貴重な機会です！



本イベントコーディネーター: 山田裕一

保育所・就労支援等の仕事を経て、現在、障害者相談支援・放課後等デイ障害児療育の保育士として勤務。ライフステージや制度による支援の穴を埋めるため、従来の「困ったことに対する支援」に留まらず、当事者が活躍できる「舞台構築支援」を目指しています。共著書に「子ども・若者政策のフロンティア」「教育と福祉の課題」(晃洋書房)等もあります。

障害平等研修とは

障害平等研修は、障害当事者がファシリテーターとなって進める研修プログラムです。障害者が直面する日常的な社会の問題を、参加者自らが気づき、発見し、さらに「実行」するようになることを目指して行われます。障害平等研修を通して、障害を権利・不平等・差別の課題として捉えられるようになり、この「視点」を基に自分自身の生活や仕事を通してより平等な社会を実現していくようになるプログラムです。

(障害平等研修フォーラムブログhttp://blog.canpan.info/detforum-japan/category_1/1より)

第1部 障害平等研修(前半)障害とは何か？(学ぶ・感じる・共有する)

障害平等研修とはどのようなものか？実際の研修プログラムの一部を受け「体感」することで、差別や権利を自分事として考えましょう。「障害」は個人にあるのではなく、社会との間にあるという視点を踏まえた、前回の熊本開催よりもより深いワークショップ(研修)を行います。

第2部 障害平等研修(後半)解決法・意義・可能性(深める、討論・対話)

障害者差別解消法が施行され、平等な社会を目指す一歩が踏み出されます。平等な社会の実現のためには、私たち市民ひとりひとりの生きた力が必要です。自分が考え続け、周囲に障害や平等の意味を伝えるためには、どのようなアクションを起こすべきか、アイデアを出し合い、「対話」し、よりよい研修を考え合いましょう。身体障害の方だけでなく、精神・発達障害に関わるの方々のご意見もぜひください！

主催: 障害学生パートナーシップネットワーク付属熊本県発達障害当事者会 Little bit

共催: 企画: 当事者会発信・研修研究所 協力: 凸凹ライフデザイン(NPO法人申請中)

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION